

本に慣れ親しむ習慣づくりに向けて ～図書委員会の活動を通して～

三重県 亀山市立野登小学校

基本データ

所在地	亀山市両尾町2124番地
児童生徒数	87人
教職員数	15人
蔵書数	6,385冊
年間貸出冊数	15,573冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用

【活動のねらい】

- 児童の読書量を増やし、幅を広げ、質を高める。
- 児童の読書習慣の定着を図る。

取組・活動の概要

(1) 「本に慣れ親しむ習慣づくり」年間計画を作成

- 「家庭」「学校」「教育行政との連携」を3本柱にし、「本に慣れ親しむ習慣づくり」年間計画を作成し、図書館担当教諭、学校司書を中心とした体制の下、地域ボランティアの協力を得ながら組織的・継続的に取り組んでいる。
- 全教職員が「国語科で学習したことをもとに作成したPOPや心に残った一冊の紹介文等を学校図書館に掲示する」「毎日、教師が学校図書館においてある小学生新聞記事を子どもに紹介する」等、子どもたちの読書に対する興味を引く仕掛けをするなど工夫をしている。



心に残った一冊の紹介文

(2) 学校図書館の環境整備

- 児童が主体的に調べ、読書を楽しむための環境整備の充実を図っている。
- 図書館マップを作成し、年度初めの図書館オリエンテーションで活用するとともに、常時掲示をすることで児童が図書館の仕組みを理解し、本を簡単に探すことができるようにしている。

- 児童が利用しやすいように蔵書の配置換えや面出し、展示コーナーの設置（外国語の絵本コーナー、シリーズ本のチャレンジコーナー等）、配架サインを加えるなど環境整備に努めている。



外国語の絵本コーナー

(3) 学校司書、地域ボランティア、学校図書館活用アドバイザーとの連携

- 週に1回、学校司書と地域ボランティアが訪問している。
- 学校司書は、読書についてのアドバイスやレファレンスサービスや、各教科等での授業に関連させた図書の選定、収集を行っている。
- 学校司書と地域ボランティアは、朝の読書の時間に週2回読み聞かせを行っている。
- 月に1回程度、学校図書館活用アドバイザーが訪問し、読み聞かせやブックトーク（低学年）、本の分類、百科事典の使い方（中・高学年）の授業を行ったり、教職員対象に新聞の活用方法「まわし読み新聞」の研修会を開催したりしている。

(4) 児童の主体的な活動

- 読書強化週間（年4回）や図書館まつり（年3回）では、図書委員が主体的に活動している。
- 興味をもって読書に親んでもらおうと図書館祭りの内容について話し合ったり、プレゼントのアイデアを出し合ったりしている。
- 図書委員は、全児童が喜んでくれる読み聞かせにしようと、友達同士で練習をしている。
- 朝の放送で、全校児童に読書を呼び掛けている。



図書館まつり



児童による読み聞かせの様子

(5) かめやましファミリー読書リレー

- 亀山市で取り組んでいる「かめやましファミリー読書リレー」を年2回低学年対象に実施。
- リレーでバトンをつなぐように週単位で家族から家族へと本を読みつなぎ、読書習慣を身に付けるとともに読んだ本について話をするなど、家庭内・家族間のコミュニケーションを図ることにより児童の読書習慣を培っている。

(6) 市立図書館との連携

- 定期的に亀山市立図書館から読み聞かせに利用する本や学習に関係する本など、団体貸出を受けている。
- 常に教室に学校図書館と市立図書館の本があり、児童がいつでも読んだり、学習に活用したりできる。

取組・活動の工夫や特徴

- 図書館担当教諭が、「様々な本を読んでほしい」という願いを児童に話し、図書委員とともに、図書館まつりの取組方法を考えている。
- 本に興味をもってもらうために、ビンゴの項目内容についても委員会で話し合っている。分類番号に注目したもの、「頭の栄養本」「心の栄養本」「おたのしみ本」という項目で作ったもの、学習したことに関連づけたものなど、工夫をしたビンゴを図書委員が作成している。
- 図書館担当教諭は、図書館まつり期間中の読書数についての個人目標、クラス目標を考えさせて取り組ませている。

取組・活動の成果や今後の展望

【取組実施前後の変化の内容】

- 最初、図書委員会で取組内容を反省すると、児童はできたかどうかの反省のみであった。そこで、「活動する中で困ったことやうれしかったこと、気づいたことを考えていくとよい」と児童にアドバイスをしたところ、図書館の活用の仕方について気づいたことを話し合えるようになり、徐々に高学年が低学年に図書館でのマナーなどについて教える姿が見られるようになった。
- このような委員会活動の様子を学校司書や図書館活用アドバイザーが認め、児童に声をかけてくれるので、児童の励みにつながっている。

【成果などの把握の方法や内容】

- 図書館担当教諭が図書館まつりの取組状況をふり返り、積極的に取り組んだ児童の割合や成果、課題を全教職員に伝え、共通理解をし、今後の取組につなげている。

【今後の展望】

- 今後は、読書量だけでなく、読書の質をあげていく。